



食を大切にする子に

校長 大橋 一樹

本格的な冬の到来が迫ってきました。雪のピークはもう少し先です。とはいえ、次第に寒さが厳しくなってきました。第8波が心配されていますが、換気やこまめな手洗い等は感染症拡大防止のため継続してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

気温が下がると外に出ることも億劫になりがちですが、本校では多くの子が休み時間に校庭に出て元気に遊んでいる姿があります。また、マラソンの取り組みが始まっています。近年中止になっていましたが、これからのさらに寒い時期でも、運動に親しんでほしいとの願いを込めて「マラソン大会」も開催する予定です。

さて、世間ではSDGsの取り組みも定着しつつあり、学校でも委員会を設立し様々な活動に取り組んでいます。その中でも今回は、食品ロスなど「食に関する」内容に触れていきます。

船橋市の給食は、和食を推進しています。子供たちはどうしてもパン、パスタやハンバーグなどの洋食・中華料理に触れる機会が多く、煮物や焼き魚、みそ汁など家庭でも食卓に並ぶことが少なくなったのではないのでしょうか？

和食文化は、家族や地域の絆を深め、故郷や日本のよさを再確認し、日本人であることに誇りを持つことにも繋がります。また、和食文化を次世代に伝えることは、食を通じて日本人が大切にしてきた心を伝えていくことでもあります。さらに、ただ単に食べるのではなく、命をいただいていることや生産者の方々への感謝、料理を作って下さる方への感謝の念も育てたいと考えております。

本校では、給食の残菜を減らそうと取り組んでいます。委員会による残菜調べや毎日給食室から発行されているお手紙を食事前にみんなで読んで、食について考える時間を設けています。しかし、現状はメニューによっては、多く残る日もあります。麦ごはんやおこげを見て「やだあ」などと口に出し、食べようとしないうちの子供もいます。

片付けの際、食缶に残っている残菜を見て、心が痛まないような子供には育てたくはありません。食事できる量は、もちろん人それぞれですが、意識を変えることは可能だと思います。

食は生きていく上での土台であり、生きていく活力に繋がります。今後も「しっかり食べられる子」を育てていきたいと考えております。

これからお正月に向けて親族や祖父母の皆様とお会いする機会もあると思いますので、どうぞご家族で食について話題にさせていただけると幸いです。

★本校ホームページをご覧ください。

最新情報や日々の教育活動・児童の様子を中心に「今日の薬円台小」に掲載しています。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/yakuendai-e/index.html>



薬小フェスティバル・校外学習 の報告



11月12日(土) 授業参観・薬小フェスティバル

たくさんの保護者の方々にお越しいただき、子供たちも喜んでいました。午後には開催した薬小フェスティバルにも多くの子が参加し、大盛況となりました。



6年生 11月25日(金)国会・キッズニア東京

天気が良く、久しぶりの国会見学ができました。TVに映る廊下や会議場を見て感動していました。午後はキッズニアで職業体験。最後の校外学習、楽しい一日となりました。



表彰の記録

※11・12月の全校朝会にて紹介・表彰

おめでとうございます

【算数・数学チャレンジふなばし】

奨励賞 6年 2名

【船橋市社会科作品展】

優良賞 1年 1名

6年 1名

【船橋市科学論文・科学工夫作品展】

優秀賞 3年 1名

5年 1名

【船橋市技術・家庭科作品展】

入選 5年 2名

6年 2名

